東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2010 年 2 月 12 日

イスラームにおけるスポーツ

スリムの皆様。私達の聖なる宗教であるイスラームは、疲れや悲しみ、そして苦悩を軽くするために様々な運動を行うことを許されました。実際敬愛する預言者（彼に平安あれ）は『力強いムスリムは弱いムスリムより優る』[1]と語られ、その方法の一つとしてスポーツを行なうことを勧められました。

暇な人や気がふさぐ人そして休息を必要としている人々に対して我々の預言者は『あなたたちの中誰かが悲しみや苦労に困った時、弓を手にしてその苦労の状態を解消する以外の方法がない』と仰せられました。また、ある日預言者さまは、何人かの教友の一団が遊びに行ったことを御聞きになられ、それをよしとはされませんでした。しかし矢を射るために行ったと言われ、彼は『矢を射ることは無駄な遊びではない。矢を射ることは、時間を過ごす遊びの中で最も良いものである』[2] と教えられました。

乗馬も私達の宗教において勧められているスポーツの一つです。聖預言者（彼に平安あれ）は『矢を射ることと乗馬を身に付けなさい』[3] と語り、乗馬を学ぶことを推薦されました。さらに乗馬を勧めるだけではなく、時々競馬会を行い、優勝された人達に褒賞も与えました。[4]

矢を射ることや乗馬に伴い、イスラームにおいては走ることも勧められ、そして教友達は、それを大切にしたことが知られています。このことに関して聖預言者（彼に平安あれ）は『二つの目的の間を走る人の一歩ずつに一つ一つ報奨がある』と述べられました。まだそのお方が私達の母でもある聖アイシャと二回競走を行なわれ、一回めは聖アイシャが勝ち、二回めは聖アイシャが太ったために負け、競走に勝った聖預言者（彼に平安あれ）は、アイシャに対して『今回は前回の競走の借りを返しました』と語ったことが伝承されています。[5]

レスリングも、敬愛する預言者（彼に平安あれ）が自ら行ったスポーツです。伝承によればアッラーの使徒はレスリング選手ルカーネと何回もレスリングをし、毎回勝ちました。[6] アッラーの使徒は、『子供が父に対し持っている権利は、文字を書くことと泳ぐことそして矢を射ることを教わることである』と述べられ、[7] 泳ぎを学ぶことを勧めました。

兄弟姉妹の皆様。現在のスポーツの全てが聖預言者の時代になかったことは確実です。したがってイスラームの命令や禁止事項に逆らっていないスポーツは、許されていると言えます。さらに我々の宗教は、スポーツを見るだけではなく自ら運動することを勧められています。

スポーツをする時、幾つかの注意すべき点を説明し、本日のホトバを終わえたいと思います。

ボクシングのようなお互いに害を与えるスポーツ分野に関わってはいけない。

遊びや娯楽だけのためにスポーツをしてはいけない。

スポーツに没頭し礼拝や崇拝行為を欠いてはいけない。

何らかの利益を期待してはいけない。

スポーツ中に腹を立って中傷の言葉を使ってはいけない。

服装の基準を尊重する

休息や娯楽を過度に行なって時間を無駄にしてはいけない。

最も大切なこととして、娯楽をギャンブルの手段にしてはいけない。

---

[1] ムスリム, カデル, 34.
[2] ケンズル・ウッマール, 4/ 292
[3] リヤドゥッサーリフィーン 1564; ダーリミ, 124.
[4] ネサーイ・ハイル, 14.
[5] エブーダーブードゥ, ジハードゥ, 61.
[6] イビン・ヒシャーム, 1/ 390-91.
[7] ベイハキー